

鉄 道

(JR常磐線)

- ① 不通区間：原ノ町～竜田、浜吉田～相馬
※原ノ町～小高間については、平成28年7月12日に運転再開（平成28年7月12日追記）
- ② 浜吉田～相馬間について、まちづくりと一体となった復旧を円滑に進めることができるよう、沿線地方公共団体、JR東日本、復興庁、東北地方整備局及び東北運輸局からなる復興調整会議を設置し、復旧について検討。
この検討結果等を踏まえ、ルート移設等により用地取得等を前提として、平成26年春の工事着手、平成28年12月末までの運転再開を目指す。
- ③ 避難指示区域内（原ノ町～竜田間）の区間については、平成28年3月10日に、開通時期が明らかとなっていなかった浪江～富岡間について、平成31年度末までの開通を目指すこととした。これにより、常磐線の全線開通の見通しが明らかとなった。
- ④ 平成27年度の目標
浜吉田～相馬間については、平成26年春に工事着手し、平成29年春頃の運転再開を目指す。
原ノ町～小高間については、平成28年春までに開通を目指す。
また、開通時期の見通しを示した区間や帰還困難区域を含む浪江～富岡間については、引き続き、関係省庁の副大臣やJR東日本等で構成するJR常磐線復旧促進協議会の場を生かしながら、復旧に向けた取組を進める。
- ⑤ 平成27年度における成果
浜吉田～相馬間については、平成26年春から工事に着手し、その後、工事が順調に進捗したことから、当初の予定である平成29年春から前倒しし、平成28年12月末までの運転再開を目指し、工事を実施。
原ノ町～竜田間のうち、浪江～富岡間を除く開通時期の見通しが示されていた区間については、平成27年3月に決定した『将来的に全線で運行を再開させる』との方針に基づき、除染作業や鉄道施設復旧工事など、それぞれ復旧に向け取り組んだ。
また、帰還困難区域を含む浪江～富岡間については、平成27年8月から12月にかけて、JR東日本が双葉～夜ノ森間において、除染の試験施工を実施し、その結果を踏まえ、平成28年3月10日に平成31年度末までの開通を目指すことを決定した。これにより、常磐線の全線開通の見通しが明らかとなった。

⑥ 平成28年度の目標

浜吉田～相馬間については、引き続き、平成28年12月末までの運転再開を目指す。

避難指示区域内（原ノ町～竜田間）の区間については、引き続き関係者間で緊密に連携し、平成31年度末までの全線開通※に向けて取り組む。

※原ノ町～小高間については、平成28年7月12日に運転再開（平成28年7月12日追記）

※ JR常磐線（避難指示区域内）の開通の見通し

原ノ町～小高間・・・2016年（平成28年）春までに開通（平成27年3月10日「JR常磐線の全線開通に向けた見通し等について」）

※原ノ町～小高間については、平成28年7月12日に運転再開（平成28年7月12日追記）

小高～浪江間・・・遅くとも2年後（平成29年春）の開通を目指す（同上）

浪江～富岡間・・・2019年度（平成31年度）末までの開通を目指す（平成28年3月10日「JR常磐線の全線開通の見通しについて」）

富岡～竜田間・・・2017年（平成29年）内の開通を目指す（平成28年2月23日浜通りの復興に向けたJR常磐線復旧促進協議会にてJR東日本報告）

